

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

41

号

2020.1



湯ノ湖（栃木県日光市）

主な内容

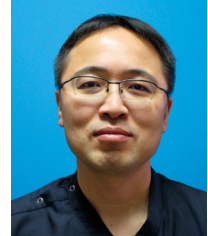
- | | |
|---|---|
| 診療紹介（泌尿器科） | 2 |
| 部門紹介（地域連携・入退院支援センター） | 3 |
| 鬼怒川小学校にて心肺蘇生教室を開催 | 4 |
| DMATロジスティックチーム隊員としての活動報告
ー令和元年台風15号に伴う千葉県への派遣ー | 5 |
| 社団医療法人 栄仁会 川上病院／求人情報 | 6 |



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 泌尿器科

泌尿器科は尿を作り、これを貯めて体外に出す働きに関係のある臓器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）の病気や男性のみにある精巣（睪丸）、精巣上体（副睪丸）、精管、精嚢、陰茎、前立腺の病気、さらに副腎、後腹膜の病気を扱っています。このため、女性から男性、小児から高齢者まで幅広い層を対象として診療しています。



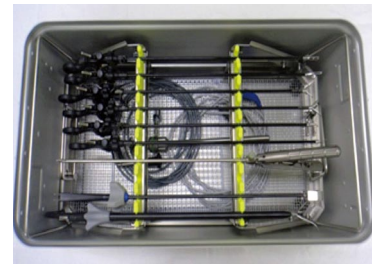
【診療内容】

泌尿器科疾患の全般についての診療を行います。治療に関しては外科的治療（手術）が中心となります。

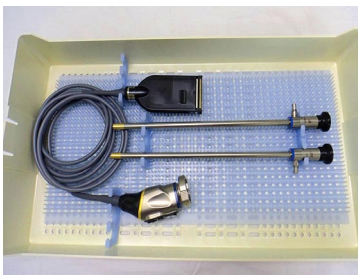
【特徴、特色】

2019年10月より、常勤医師が赴任し、入院・手術ができる体制となりました。経尿道的手術や全身麻酔下の手術も可能となっています。

ほかの領域と同様に泌尿器科においても内視鏡による診断、治療の発達が目覚ましいものがあります。尿路上皮癌（腎盂、尿管、膀胱がん）は、特殊光を用いた最新の内視鏡を用いて、正確な診断や治療成績の向上に努めています。



腹腔鏡下手術用鉗子セット



腹腔鏡下手術用カメラ

当センターでは、最新の内視鏡を用いて、膀胱や前立腺などの経尿道的手術とともに、副腎や腎臓の手術（腹腔鏡下手術）についても開始しました。腹腔鏡下手術は、従来の開腹手術に比べて、傷が小さく、術後の痛み軽減に有用です。術後の痛みが軽いと、回復が早まり、合併症の予防にもつながります。整容的（見た目）にも優れたやり方で女性にも受け入れやすい方法です。

副腎腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術、腎がんに対する腹腔鏡下腎摘除術、腎盂・尿管がんに対する腹腔鏡下腎尿管全摘除術、腎盂尿管移行部狭窄症に対する腹腔鏡下腎盂形成術、尿管遺残症に対する腹腔鏡下尿管摘出術などが可能です。

今後も増加するがん治療に関しては手術療法のみならず、チーム医療が行える環境にあるため、進行がんであっても最新の集学的治療にてほかに抱えている病気や年齢などの状態に合わせたきめ細かい治療を行います。

この地域において、泌尿器科疾患の最良の治療を提供できるよう努力いたしますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。



腹腔鏡下手術用装置一式

泌尿器科外来担当表

曜日	月	火	水	木	金	第2・4土
AM 担当医	幸准教授	幸准教授	手術	鈴木助教	西原助教	幸准教授
PM 担当医	幸准教授	手術		手術	西原助教	

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 地域連携・入退院支援センター

【地域連携・入退院支援センターとは？】

地域連携・入退院支援センターは、令和元年7月に地域連携医療部より名称を変更しそれに伴い業務の強化を図っているところです。当部門では、治療を受ける患者様やそのご家族が、外来、入院される中で安心して生活を送っていただけることを目標にしています。入院後の不安に関するご相談に対応するとともに、安心して退院できるようお手伝いもさせていただきます。地域医療や地域の皆様のために出来ることが多々あると考えています。病気やケガによって起こる問題でお困りの際はお気軽にご相談ください。

【患者様・ご家族様に行っている業務】

- 入院が決まった時から安心して入院生活が送れるように、入院予約時の対応支援
- 病気やケガによって起こる経済的・社会的・心理的な問題等の相談や社会福祉に関する制度・サービスの紹介、退院後の適切な療養先への紹介や在宅療養へ向けての準備等の支援
- 退院後にケアや処置が必要な場合、看護師が退院前・退院後訪問を行い在宅生活を送れるよう環境の確認・アドバイス・指導等の支援
- 地域の医療機関との連携
 - * 紹介（前方支援）：かかりつけ医など医療機関からの受診予約などに関する諸手続き
 - * 逆紹介（後方支援）：かかりつけ医またはご希望される医院・診療所へ紹介させていただく際の必要な手続き

【地域医療機関との連携で行っている業務】

- 当センターと地域の医療機関との連携を図り、患者様の紹介・逆紹介をスムーズに行う
- 地域の皆様の健康増進に役立つ講演会、講習会の企画・運営

相談を希望される方は、直接「地域連携・入退院支援センター」にご連絡いただくか主治医・看護師にお申し出ください。

※相談は無料です。相談内容に関する秘密は厳守します。 ☎0288-76-1717

対応時間：月～金 9：00～16：30 土 9：00～13：00（第3土を除く）

鬼怒川小学校にて心肺蘇生教室を開催

日光医療センター管理課

この度鬼怒川小学校から依頼があり、安隆則病院長と3名の看護師が5、6年生や保護者など、約30名を対象として心肺蘇生教室を実施しました。これは9月25日の運動会で、保護者の男性が心筋梗塞で倒れ、その場に居合わせた人々による適切な救命措置により一命を取り留めたことを受けたもので、このように専門家が小学校に赴いて教えるのは珍しいことです。

初めに安病院長が日本とアメリカの都市シアトルの救命率には非常に大きな差があり、その要因がその場に居合わせた人（バイスタンダー）による心臓マッサージやAEDの使用による心肺蘇生実施の有無によるものであることを説明し、子供の時からそれらを学ぶことでいざという時に行動できるよくなるかと話されました。その後、5つのグループに分かれてトレーニングモデルを用いて講習を実施しました。児童は皆真剣な表情で心臓マッサージの方法やAEDの使用方に聞き入り、実践していました。



安病院長は最後に、考えるよりもすぐに行動に移せるようになってほしいとし、運動会の時に行われたように心臓マッサージやAEDの使用をためらわず行ってほしいと話しました。

日光市は特に高齢化が進む地域であるため、このような活動が非常に重要となってきます。日光医療センターだけでなく、他の医療機関とも連携しながら、活動を続けていけたらと考えています。



DMATロジスティックチーム隊員としての活動報告

—令和元年台風15号に伴う千葉県への派遣—

日光医療センター 看護部 三村大輔

令和元年台風15号による被害が千葉県内で発生し、令和元年9月10日～12日にDMATロジスティックチーム隊員として千葉県で活動しました。

9月10日夕方に出勤し、千葉県庁内にある千葉県保健医療調整本部で指示を受け、千葉大学医学部附属病院内の千葉・市原・山武長生夷隅DMAT活動拠点本部で、翌日からの活動方針の確認や情報収集を行いました。

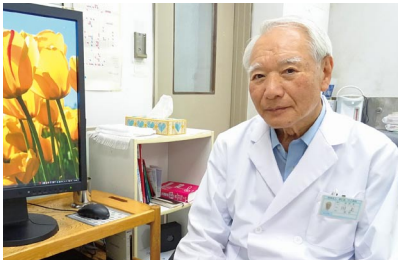
9月11日は、東金市にある東千葉メディカルセンターの病院支援指揮所で活動を行いました。近隣の病院では、停電や断水の影響などから患者受け入れができなくなり、東千葉メディカルセンターに患者が集中搬送され、救急車受け入れ数が平時の30台から台風被害発生後50台以上に増加しました。多数の救急車受け入れ対応や入院対応などから、院内スタッフが疲弊し、これ以上の入院受け入れはできない状況でした。すでにDMATが病院支援に入っており、ERの診療支援や、他院への搬送支援を行っていました。DMATロジスティックチームとして、医療ニーズを再評価し、それに対しどのような支援が必要となるかを検討していくことが課題であり、追加派遣されるDMAT数の調整などを行いました。9月11日には救急車受け入れ数も減少傾向となり、ロジスティック支援は少ないことを確認し、東千葉メディカルセンターでの活動を終了しました。



9月12日は、千葉大学医学部附属病院内にある千葉・市原・山武長生夷隅DMAT活動拠点本部で活動を行いました。EMIS（広域災害救急医療情報システム）の情報が更新されていない医療機関に電話で聞き取り調査を行った後、DMAT活動拠点本部から県・市町村・保健所の担当者への引継ぎミーティングを行いました。行政への引継ぎ完了後に、千葉・市原・山武長生夷隅DMAT活動拠点本部は撤収となり、DMATロジスティックチームとしての活動は終了となりました。

3日間の活動を終えて振り返ると、災害に対して一個人の力は微々たるものですが、被災地の方や、災害派遣されて活動する一人一人の思いや活動が大きな力となり、復興に繋がっていくのだと感じました。近年、地震や台風などの自然災害が多く発生しており、栃木県内で自然災害がいつ起こるかは分かりません。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。





安心してかかる病院に向けて

当院の歴史は、戦後間もない旧今市市に川上医院として開院したところから始まり、昭和23年の開院から現在71年が経過しました。先代院長による診療が開始され、産科、婦人科を標榜し新しい命の誕生に貢献してきたことが地域の方々にとって安心できる医院であったと聞きます。

昭和49年に現在の場所に川上病院として移転し、地元の救急医療に以前にも増して携わるようになります。同時に放射線治療装置も導入し婦人科系のがん治療も行っておりましたが、婦人科の廃止に伴い放射線治療も終了となりました。新たな分野としてリウマチ科を標榜し患者さまの苦痛を少しでも和らげることができるような外来を目指しております。

さて、一口に「地域医療連携」と言いますが、当院にできることには限界があります。そこで日頃よりお世話になっている獨協医科大学日光医療センターとの連携が不可欠となってきます。毎週の専門外来ではセンターの先生方に大変お世話になっております。救急時の対応でも先生方のバックアップがあるからこそ転院等の手続きがスムーズにできております。この場をかりて感謝申し上げます。

日光ヘルスケアネットの発足により各種実務者会議が始まろうとしております。地域医療連携が益々深まりますよう期待しております。そして、当院では現在新しい地域医療連携に対応すべく電子カルテ導入に向けてのワーキングを開始し始めました。本格稼働までの道のりはまだまだ困難が予想されますが、職員一同努力しているところです。

今後とも獨協医科大学日光医療センターとの連携を密接にして、より良い医療を提供できるよう努力していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

当センターと一緒に働いてみませんか？

令和2年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※令和元年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年はどんな一年が待っているでしょうか？

「東京2020」オリンピック・パラリンピックもありますね。

今から楽しみにされている方も多いことでしょう。

毎日ウキウキした気持ちで過ごしたいですね。

今年、素敵な毎日が皆様に訪れますように…

(M.H)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第41号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc.html>

発行年月日/令和2年1月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

